

平成29年11月1日



つつじが丘小学校
学校だより

つつじ

昭島市立つつじが丘小学校長 上田 祥市

思いやりあふれる学校に

～11月ふれあい月間～

副校長 森本 弘子

10月末に台風が二週続けてやってきました。ちょうどその合間に、玉川上水の学習を終えた4年生が羽村の取水堰の見学へ、その二日後には、杉の子学級の3年生から6年生までの子供たちが、さらに上流の奥多摩へ宿泊学習に行ってきました。台風通過後の多摩川は、荒々しい濁流が、ゴーという音を立てながら流れていました。上流にある小河内ダムの放流もすごい量で、改めて自然のすごさを感じることができ、深い学びとなりました。

さて、今月は、明日2日の「全校遠足」と24日、25日に行われる「演劇フェスティバル」の2つの大きな行事があります。行事には、子供たちを大きく成長させる力があります。

全校遠足は、6年生がリーダーとなり、縦割り班で昭和記念公園に行って一日遊びます。高学年は、下学年の子供たちのことを気にかけて、優しく接したり声を掛けたりします。その高学年の姿を見て、低・中学年の子供たちは「自分も高学年になったら、あんなふうにかっこよくなりたい」と憧れ、目標とするのです。異学年の子供たちが一緒に過ごすのですから、互いに相手のことを考え思いやることも必要となります。

「演劇フェスティバル」は、学年で一つの劇を作ります。先日各学年で読み聞かせが行われ、子供たちは、自分たちが演じる物語と出会いました。その日から子供たちは台本を手にとどの役を演じようか考えながら、熱心に読んでいます。配役が決まり、いよいよ練習が始まります。それぞれの学年に合った目標を立て、全員の力を合わせて作っていきます。どんなに主役が上手に演じても伝わりません。その場面を作るのは裏方を含めた舞台にいる全員です。相手のことばや動きにどうリアクションするのか一人一人が考えて作っていくのが本校の目指す劇です。どうぞ、ご期待ください。

どちらの行事においても、人とのかかわりが重要になります。今月は「ふれあい月間」です。かかわりの中で周りの人を思いやる心を育てていきたいと思います。

以前に、こんな文章を読んだことがあります。
「だれもが思いやりの心をたっぷりもっている。(ダムの様に)その思いやりには、蛇口が付いていて、蛇口の開け具合が人それぞれ違っている。」

だれもが優しい思いやりの心をたっぷりもっていると信じ、その蛇口を大きく開けて、つつじが丘小学校全体が思いやりの心あふれる学校になるよう、これからも人となのかかわりを大切にしていきます。



3年1組 産休代替教員のお知らせ

3年1組担任の青木真実主任教諭が産休に入りました。11月1日より、産休代替教員として、星光城(ほしみつしろ)教諭が着任いたしました。よろしくお願いいたします。

運動会のアンケートありがとうございました。

たくさんのご感想・ご意見ありがとうございました。皆様からのご意見と職員の反省をもとに検討し、来年度の計画を作成しております。内容については後日お知らせします。